

4月4日、新規学卒者歓迎会がふなまちベイホールにて開催されました。例年と趣向を変え、今年度は役員、先生方と、新入職員を迎える各部署の責任者、プリセプターが参加する和やかな歓迎会となりました。

辰川理事長の開会の挨拶に続き、今年度より着任された末丸先生、浜口先生に挨拶をいただきました。狩野副院長の乾杯でスタートした歓談の中、新入職員はプリセプターと共に壇上にあがり、スクリーンに映し出された自己紹介カードを見ながら、それぞれの長所、短所、仕事への意気込みなどを発表してくれました。プリセプターからも、仕事に対する思いや趣味の話などがあり、ひとりひとりの人柄を知ることができる内容でした。また、クラブ紹介もあり、和気藹々とした雰囲気が進んだ歓迎会の最後は、恒例の池辺先生による一本締めで滞りなく閉会しました。



新入職員のみなさんは、初めは慣れないことも多く緊張する日々と思いますが、遠慮せずに周囲の先輩に声を掛けてもらえたらと思います。皆さんと共に働き、切磋琢磨できることを楽しみにしています。



ふれあい

「グループ理念」 ともに歩む、ともに生きる



117

2019.04 発行
TAKE FREE

辰川会 広報誌

・ 理事長のご挨拶 ・

新年度を迎えて



山陽病院 理事長
たつかわ まさし
辰川 匡史

新年度にあたり皆様にご挨拶申し上げます。

早いもので、山陽病院をリニューアルして3年目になります。昨年度は福山医療センターで副院長をされていた水谷雅己先生に山陽病院院長に就任いただきました。泌尿器科の充実はいまでもなく、医療安全や院内感染対策など、病院の質に関わる

先日、発表された新元号の「令和」は万葉集から引用され、一人ひとりが希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる世の中でありたいという願いがこめられているそうです。地方経済はぱっとせず、健康保険料は上がり、年金額はじわりと下がり、暮らしにくさを感じる昨今ですが、「令和」の時代が「令和」に込められた思いのように、希望に満ちあふれた時代となれば、と思います。

さて、当グループとしては、平成の時代も令和になっても思いは同じで、「当たり前のことを丁寧にする」「地域に密着し、健康でその方らしい生活を守る」ことが我々の理想です。医療部門には、常勤医師として循環器内科の末丸俊二先生が加わり、より幅広い疾患に対応できるようになり、地域の皆さまのニーズにさらに応えやすくなると思います。

また、今年度も様々な視点から改善・改革を進めていきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

部門において長年基幹病院で培われた経験をもとに、改善を進めていただいています。また、山陽腎クリニックも池辺宗三人先生を院長としてお迎えし、建物のリニューアルも終わり、中身の改革を一生懸命進めているところです。

2019年度 辰川会グループ 入職式・新入職員研修 事業本部 リーダー 渡邊久美子

4月1日、新入職員11名、中途採用職員2名と新任医師2名を迎えて入職式が行われました。辰川理事長の激励の言葉に続き、新入職員代表の看護師の藤原美瑠さんが「患者様が安心して治療に取り組める病院作りに貢献すること、ひとつひとつの業務に責任を持ち、患者様に対して真摯に向き合える医療スタッフになることを目指し、同期の仲間や先輩方と力を合わせて日々邁進していきます。」と、決意を述べました。

入職式後は早速4日間の研修に入り、グループの理念や医療従事者として必要な心構えや知識、社会人として必要とされる接遇の基本などを学びました。昨年に引き続き行った介護事業所レクリエーション体験では、新入職員が利用者様と一緒に参加し、緊張しながらも笑顔で触れ合う姿が見られました。また、腎クリニックで透析中の患者様から直接お話を聞く機会もあり、患者様のために自分は何ができるのかを、改めて考えた新入職員も多くいました。

研修後の終了式では、新入職員ひとりひとりが8月までの目標に向けての決意表明をし、各職場に配属となりました。一人前になれるよう職場全体で温かくサポートしていきたいと思います。



こんにちは赤ちゃん

辰川会の職員に赤ちゃんが誕生しました★元気ですくすく大きくな～れ

<p>青柳 綾ちゃん 2018年11月6日誕生 2,902g 山陽病院 リハビリテーション科 作業療法士 青柳奈都絵さん 第1子</p>	<p>保富直央くん 2018年12月26日誕生 3,066g 訪問リハビリ山陽 作業療法士 保富佳恵さん 第2子</p>	<p>三村乙翔くん 2019年1月15日誕生 3,456g 特別養護老人ホームしんがい 介護福祉士 三村知春さん 第3子</p>	<p>花本心桜ちゃん 2019年3月4日誕生 2,536g 山陽病院 医療介護情報管理室 外来クラーク 花本桃実さん 第1子</p>
--	--	--	--

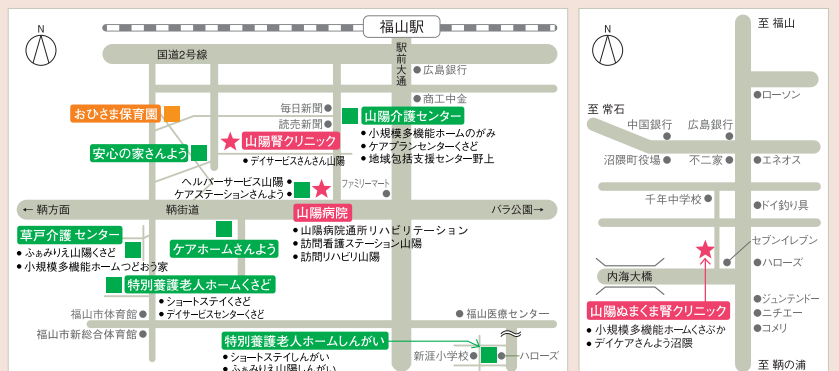
ボランティア紹介

ご協力いただきありがとうございます♪

<p>2月 習字教室 河内牧江様 傾聴ボランティア 高馬京子様 紙芝居講演 橋本玲子様 車椅子ボランティア 安原たか子様 音楽教室 杉原登志子様 二胡の演奏 藤岡一郎様 歌とピアノの会 ピアノ/岩本美和様 歌/光学区女性会 バナナの話、紙芝居 黒田宏様</p>	<p>3月 傾聴ボランティア 高馬京子様、石井龍一様 習字教室 河内牧江様 紙芝居講演・お話し会 橋本玲子様 車椅子ボランティア 安原たか子様 二胡の演奏 藤岡一郎様 音楽教室 杉原登志子様 歌とピアノの会 光学区女性会 ハーモニカの演奏 老ボランティアクラブ 日本舞踊、大正琴の演奏 霞舞踊同好会</p>	<p>4月 傾聴ボランティア 高馬京子様、石井龍一様 習字教室 河内牧江様 車椅子ボランティア 安原たか子様 傾聴ボランティア 野口啓子様、原田さくら様 音楽教室 杉原登志子様 藤岡一郎様 歌とピアノの会 光学区女性会 大正琴の演奏 野上2・3丁目老人クラブ 歌とピアノの会 ピアノ/岩本美和様 歌/光学区女性会 多治米公民館大正琴サークル</p>
--	---	--

辰川会グループ

〔医療法人辰川会〕
山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科
 〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号 Tel:(084)923-1133(代) Fax:(084)923-1158
山陽腎クリニック 人工透析科/人工透析内科
 〒720-0815 福山市野上町1丁目7番8号 Tel:(084)928-5500(代) Fax:(084)928-5535
山陽ぬまくま腎クリニック 透析科/透析内科/外科/内科
 〒720-0311 福山市沼隈町東塚2031-1 Tel:(084)980-0034(代) Fax:(084)987-3450
 [社会福祉法人さんよう]
特別養護老人ホームくさど
 〒720-0831 福山市野上町5丁目8番24号 Tel:(084)973-9911 Fax:(084)928-9988
特別養護老人ホームしんがい
 〒721-0955 福山市新道町3丁目19番27号 Tel:(084)961-3955 Fax:(084)961-3950



・新任医師紹介・

よろしくお願いたします



山陽病院
山陽腎クリニック 内科
すえまる しゅんじ
末丸 俊二

本年4月1日付で山陽病院に着任いたしました末丸と申します。

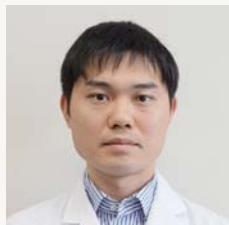
岡山出身で平成8年に岡大第一内科入局後、関連施設で循環器疾患を中心に研修を重ねてきました。専門は虚血性心疾患ですが、生活習慣病(高血圧、糖尿病、高脂血症など)を含め診療にあたっております。診療の際には患者様、ご家族様に安心していただけるよう、丁寧かつ誠意をもって行うことを心がけております。労作時前胸部痛、動悸など胸部症状にお困りの方がおられましたら、気軽に相談してください。丁寧に対応させていただきますので、宜しくお願いいたします。



山陽腎クリニック 内科
ぬまくま腎クリニック
はまぐち なおき
濱口 直樹



山陽病院 内科
たけい けんすけ
竹井 健介



山陽病院
山陽腎クリニック 内科
かどの みつき
門野 充記



山陽病院 整形外科
やまだ かずき
山田 和希

春の消防訓練

事業本部 瀬尾昌展

3月から4月にかけて、辰川会グループの全事業所で春の消防訓練を行いました。山陽介護センター野上には、2月から包括野上が加わったため、小規模のがみ、ケアプラン



くさどと一緒に3事業所合同で訓練をしました。日中に1階の台所から出火した想定で、包括野上スタッフが初期消火と通報をしました。その後、3事業所のスタッフが声を掛けあいながら協力して避難誘導を行いました。

山陽病院では、実際に近づけるため参加者には場所を伝えず、患者役のスタッフを見つけ出して救出するというミッションに取り組んでもらいました。また、南消防署の指導のもと、補助散水栓での放水訓練も行いました。補助散水栓を使ったことがないスタッフが多く、貴重な機会となりました。日頃から万が一の事態に備えておくのはもちろんのこと、何より絶対に火事を起こさないよう気を引き締めて業務にあたることを、スタッフ一同、確認しました。

おひさま保育園 卒園式・入園式

園長 藤井泉美

おひさま保育園では、3月30日に4回目の卒園式を実施し、個性豊かな14名の子どもたちを次の幼稚園や保育園に送り出しました。

また、4月1日の入園式では、可愛い8ヶ月の男の子を新しく迎え、今年度は2歳児14名・1歳児10名・0歳児1名からのスタートとなりました。ひとりひとりに向き合い、成長と喜びに満ちた保育園にしていきたいと思ひます。



デンマーク認知症支援プログラム視察研修

辰川自光・和美

3月中旬に、鳥取大学医学部教授である浦上克哉先生の引率で表題の研修旅行に参加しました。デンマークは北欧の社会福祉モデルとして知られており、教育は幼稚園から大学まで無料、医療も一部の薬剤を除いて無料。九州の8割くらいの面積に約580万人が暮らすコンパクトな国です。

見学先は、アルツハイマー協会、コペンハーゲンメモリークリニック、国立認知症情報教育センター、認知症の人および家族のためのアドバイスセンター、認知症の人が暮らすケアセンター、スベンボー認知症の街の6カ所でした。認知症の治療やケアに関しては、私たちの取り組みは遜色がないと思いましたが、国民の意識の違いが明確でした。一つは社会保障についてです。デンマークが認知症対策に真剣に取り組む理由は、これ以上この分野に費用が発生すると子育てへの予算が減少する、このことが大きな問題だということです。早期発見し軽度の期間を長くすることで医療関連費を抑えたいという一貫した考えがどの訪問先でも語られました。もう一つは認知症への偏見が



少なく、確定診断が早くなされ地域の支援体制へ繋げる、そこには理解あるボランティアが関与し地域で暮らす体制が構築されているという点です。制度の違いは別として、認知症への理解や広報の必要性を痛感した旅でした。

第38回 ふくやまマラソンに参加して

山陽病院 管理栄養士 東加奈

毎年恒例のふくやまマラソンが3月24日に開催され、辰川会グループ共走会のメンバーが快走しました。



今回は3kmに1人、10kmに2人、ハーフ(21km)に5人の、あわせて8人が出場しました。当日は小雨と強風で肌寒い天候でしたが、雨にも負けず、風にも負けず、参加したスタッフ全員見事に完走することができました。

ふくやまマラソンは共走会にとってメインイベントで、2016年の発足以来、辰川会のTシャツで毎年参加しています。今回出場したメンバーの所属部署は、臨床検査科、栄養科、リハビリ科、特養くさど、ふぁみりえんが、事業本部と様々ですが、マラソンを通じて親しくなり業務でも今まで以上に連携が取れるようになりました。走ることはしんどいですが、健康になれ、自分自身の成長を実感できます!また、頑張って走り終えた後の達成感は格別です!みなさんも私たちと一緒に走りませんか?最後に、寒い中沿道で応援してくれた家族やスタッフの方々ありがとうございました。

外部発表

【第44回広島県病院学会】2/17 広島医師会館
演題:血液透析導入患者への指導 ~パンフレット作成・使用して~

山陽病院 透析室 臨床工学技士 村上絢香

(ポスター発表)

【看護協力福山府中支部看護研究発表会】2/23 福山市民病院
演題:転倒報告書の追跡調査より見えてきたもの

山陽病院 4階病棟 看護師 森下実沙

~今後の課題と対策へ~ (口演発表)